制作作品の評価基準

APS旅行先チャートから、Pythonのプログラム

# 本資料の目的

本資料は、APS旅行先チャート（Python版）をベースに制作したプログラムを評価する際の基準を示すものです。三観点（知識・技能、思考・判断・表現、態度）別に記載しています。

# 使用上の注意

本資料が示す評価の基準は絶対的なものではありません。生徒・授業・学校の事情や学習状況に合わせて、適宜調整をしてください。

# 評価基準

## 知識・技能の観点の評価基準

APSの「カスタマイズ」で取り上げられている内容を応用し、APSが提供するファイルの変更によって変数を利用して表示するメッセージを管理しながら、入れ子にした条件分岐が動作する旅行先チャートのプログラムを実現しているとき、「おおむね満足できる」（B）としています。

学習した内容をもとに、テーマを新規に設定し、変数を利用して表示するメッセージを管理しながら、入れ子にした条件分岐が動作するプログラムを作っている場合、「十分満足できる」（A）としています。

|  |  |
| --- | --- |
| 評価 | 評価の視点 |
| 「おおむね満足できる」状況（B） | * 変数の値を書き換えて、質問文や応答文を変更している（カスタマイズ①に相当）。
* 条件分岐の中の条件式を書き換えている。質問文・応答文も対応するように変更している（カスタマイズ②に相当）。
* 適切な条件式を持つ条件分岐を追加している（カスタマイズ③に相当）。
* 入れ子になった条件分岐を追加している（カスタマイズ④に相当）。
* 作成・編集した条件分岐を、フローチャートを用いて記述できる。
 |
| 「十分満足できる」状況（A） | * 新たに設定したテーマのプログラムで、変数を用いてメッセージ（質問文や応答文など）を管理している。
* フローチャートを作成して、条件分岐の構造を設計できる。
* 新たに設定したテーマのプログラムで、条件分岐の構造を正しく理解して、if/elseやif/else if、if/else if/elseの構造を入れ子にして使用している。
 |

## 思考・判断・表現の観点の評価基準

テーマに基づいた一連のコンテンツが完成できたら、「おおむね満足できる」（B）としました。

さらに、テーマにあった工夫を考え、適切に判断して表現できた場合に、「十分満足できる」（A）としました。

|  |  |
| --- | --- |
| 評価 | 評価の視点 |
| 「おおむね満足できる」状況（B） | * 自ら決めた作品のテーマについて制作を行い、一定の動作をするプログラムが完成している。
 |
| 「十分満足できる」状況（A） | * テーマに合うように、質問文・応答文の文面が工夫されている。
* テーマに合うように、条件分岐の分け方・入れ子構造が工夫されている。回答しやすく、適切な解に導くようにしている。
 |

## 主体的に学習に取り組む態度の観点の評価基準

コード作成とその結果の確認を繰り返し、粘り強く制作にあたっていることと、技術情報を自ら調べ、試用して、作品に取り入れようとしていることを評価するようにしました。

|  |  |
| --- | --- |
| 評価 | 評価の視点 |
| 「おおむね満足できる」状況（B） | * プログラムを編集した後、反映された結果を確認して、編集内容と結果から、技術・知識を理解しようとしている。
 |
| 「十分満足できる」状況（A） | * 作成したプログラムが思ったような結果をもたらさないときに、粘り強く原因を調べ、意図通りの動作にしようとしている。
* 条件分岐の条件式に使える比較演算子や論理演算子を自身で調べ、試した上で、作品に取り込んでいる。
 |

※「態度」の観点の性質上、制作された作品ではなく、制作中の態度の評価になります。授業中の観察や、ワークシートに記録された内容を評価の材料としてください。